

第96回奈良CBC練習会ハンド 2015-01-15

<p>No. 1</p> <p>♠ AJ2 ♥ Q8 ♦ J2 ♣ AK8654</p> <p>♠ Q10954 ♥ 97532 ♦ 84 ♣ 3</p> <p>♠ 876 ♥ KJ ♦ Q653 ♣ 10972</p> <p>♠ K3 ♥ A1064 ♦ AK1097 ♣ QJ</p>	<p>No. 2</p> <p>♠ J874 ♥ J104 ♦ 1083 ♣ K73</p> <p>♠ 106 ♥ Q2 ♦ QJ74 ♣ Q10986</p> <p>♠ A2 ♥ AK987 ♦ K965 ♣ J5</p> <p>♠ KQ953 ♥ 653 ♦ A2 ♣ A42</p>	<p>No. 3</p> <p>♠ KQ109432 ♥ 85 ♦ J52 ♣ 10</p> <p>♠ A87 ♥ AQJ72 ♦ 84 ♣ A96</p> <p>♠ 6 ♥ K9643 ♦ AQ6 ♣ KJ54</p> <p>♠ J5 ♥ 10 ♦ K10973 ♣ Q8732</p>	<p>No. 4</p> <p>♠ AKQ72 ♥ Q3 ♦ AQ3 ♣ J84</p> <p>♠ 9865 ♥ 985 ♦ 1092 ♣ Q73</p> <p>♠ 4 ♥ J1076 ♦ KJ85 ♣ AK95</p> <p>♠ J103 ♥ AK42 ♦ 764 ♣ 1062</p>	<p>No. 5</p> <p>♠ A973 ♥ 73 ♦ QJ108 ♣ J87</p> <p>♠ K8 ♥ AK1094 ♦ A65 ♣ A103</p> <p>♠ 642 ♥ QJ85 ♦ 93 ♣ K542</p> <p>♠ QJ105 ♥ 62 ♦ K742 ♣ Q96</p>	<p>No. 6</p> <p>♠ KQJ62 ♥ 62 ♦ 97 ♣ 10973</p> <p>♠ A105 ♥ AQJ92 ♦ 862 ♣ A5</p> <p>♠ 973 ♥ K105 ♦ KQ1054 ♣ K8</p> <p>♠ 84 ♥ 84 ♦ AJ3 ♣ QJ642</p>
<p>No. 7</p> <p>♠ 109752 ♥ KJ53 ♦ J6 ♣ 63</p> <p>♠ 4 ♥ 976 ♦ 954 ♣ KQ10952</p> <p>♠ J63 ♥ Q104 ♦ AK732 ♣ A7</p> <p>♠ AKQ8 ♥ A82 ♦ Q108 ♣ J84</p>	<p>No. 8</p> <p>♠ 98543 ♥ Q10987 ♦ 4 ♣ 93</p> <p>♠ A ♥ 63 ♦ AJ863 ♣ AQJ87</p> <p>♠ Q76 ♥ AK42 ♦ KQ10 ♣ 1052</p> <p>♠ KJ102 ♥ J5 ♦ 9752 ♣ K64</p>	<p>No. 9</p> <p>♠ A96 ♥ AK5 ♦ 863 ♣ A875</p> <p>♠ 74 ♥ 863 ♦ 75 ♣ Q109642</p> <p>♠ KQJ852 ♥ 7 ♦ AKQ42 ♣ 3</p> <p>♠ 103 ♥ QJ10942 ♦ J109 ♣ KJ</p>	<p>No. 10</p> <p>♠ KQJ6432 ♥ — ♦ K72 ♣ A105</p> <p>♠ A9 ♥ KJ109 ♦ 83 ♣ KQ982</p> <p>♠ 85 ♥ Q8764 ♦ AQJ105 ♣ J</p> <p>♠ 107 ♥ A532 ♦ 964 ♣ 7643</p>	<p>No. 11</p> <p>♠ 109542 ♥ J5 ♦ 76 ♣ KJ52</p> <p>♠ 7 ♥ 974 ♦ KQ109 ♣ 976</p> <p>♠ J63 ♥ AK632 ♦ A8 ♣ Q104</p> <p>♠ AKQ8 ♥ Q108 ♦ J43 ♣ A83</p>	<p>No. 12</p> <p>♠ Q7632 ♥ 94 ♦ QJ74 ♣ A5</p> <p>♠ 104 ♥ AKQJ76 ♦ A10832 ♣ —</p> <p>♠ AKJ985 ♥ 3 ♦ — ♣ KJ9876</p> <p>♠ — ♥ 10852 ♦ K965 ♣ Q10432</p>
<p>No. 13</p> <p>♠ AKQ2 ♥ A52 ♦ AKQ6 ♣ Q3</p> <p>♠ J10985 ♥ J1076 ♦ 8 ♣ A95</p> <p>♠ 764 ♥ 98 ♦ J1092 ♣ 10842</p> <p>♠ 3 ♥ KQ43 ♦ 7543 ♣ KJ76</p>	<p>No. 14</p> <p>♠ 9632 ♥ Q8 ♦ K76 ♣ K1087</p> <p>♠ 85 ♥ K1043 ♦ J4 ♣ QJ432</p> <p>♠ AK ♥ A52 ♦ A1032 ♣ A965</p> <p>♠ QJ1074 ♥ J976 ♦ Q985 ♣ —</p>	<p>No. 15</p> <p>♠ 7642 ♥ QJ10 ♦ Q82 ♣ QJ9</p> <p>♠ J95 ♥ 94 ♦ A1076 ♣ 105</p> <p>♠ Q10 ♥ A865 ♦ 3 ♣ K87642</p> <p>♠ AK83 ♥ K732 ♦ KJ9 ♣ A3</p>	<p>No. 16</p> <p>♠ 104 ♥ 107 ♦ KQ10 ♣ AQJ1096</p> <p>♠ K963 ♥ KJ64 ♦ 932 ♣ K4</p> <p>♠ 52 ♥ A9832 ♦ 874 ♣ 752</p> <p>♠ AQJ87 ♥ Q5 ♦ AJ65 ♣ 83</p>	<p>No. 17</p> <p>♠ 86 ♥ A10643 ♦ A9 ♣ Q973</p> <p>♠ J107 ♥ 9 ♦ 10876 ♣ K62</p> <p>♠ K543 ♥ Q87 ♦ KJ2 ♣ J105</p> <p>♠ AQ92 ♥ KJ52 ♦ Q4 ♣ A84</p>	<p>No. 18</p> <p>♠ Q2 ♥ KJ62 ♦ AJ96 ♣ A109</p> <p>♠ A1054 ♥ 73 ♦ Q73 ♣ KQ75</p> <p>♠ KJ8763 ♥ AQ95 ♦ 102 ♣ 3</p> <p>♠ 9 ♥ 1084 ♦ K854 ♣ J8642</p>
<p>No. 19</p> <p>♠ 106 ♥ QJ863 ♦ 7432 ♣ A8</p> <p>♠ K52 ♥ K97 ♦ AK ♣ QJ1094</p> <p>♠ AQJ973 ♥ A102 ♦ Q105 ♣ 5</p> <p>♠ 84 ♥ 54 ♦ J986 ♣ K7632</p>	<p>No. 20</p> <p>♠ 852 ♥ 43 ♦ AJ1096 ♣ 942</p> <p>♠ KQ63 ♥ QJ107 ♦ K43 ♣ 73</p> <p>♠ 974 ♥ 952 ♦ Q82 ♣ J1085</p> <p>♠ AJ10 ♥ AK86 ♦ 75 ♣ AKQ6</p>	<p>No. 21</p> <p>♠ 3 ♥ 742 ♦ QJ10765 ♣ A75</p> <p>♠ A74 ♥ J106 ♦ 83 ♣ KQJ64</p> <p>♠ Q962 ♥ Q8 ♦ A94 ♣ 10982</p> <p>♠ KJ1085 ♥ AK953 ♦ K2 ♣ 3</p>			

☆ ビッド・プレーに関するコメント (色々と独断や間違いがあると思いますので参考程度に留めて下さい)

No. 1

♠ AJ2						
♥ Q8						
♦ J2						
♣ AK8654						
♠ Q10954		♠ 876				
♥ 97532	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>N</td></tr><tr><td>W X E</td></tr><tr><td>S</td></tr></table>	N	W X E	S	♥ KJ	
N						
W X E						
S						
♦ 84		♦ Q653				
♣ 3		♣ 10972				
♠ K3						
♥ A1064						
♦ AK1097						
♣ QJ						

N	E	S	W
1♣	P	1♥	P
2♣	P	3♦	P
3NT	P	P	end
	or	4NT	P
5♦	P	6NT	end

Sは強いハンドであるので2♦のジャンプレスポンスも考えるが、1♥でのレスポンスが普通。
Sの1♥に対して、Nが1NTでなく2♣をビッドするのは普通♣は6枚以上、また、Sの3♦のジャンプシフトにNは3NTをビッド。これをパスするかスラムを狙うかは微妙な判断。
Nが3NTをビッドしたので♠に何がしかの絵札(QXX以上)を持っていると考えられる。
そこで、Sは4NTでスラムトライをするのが面白い(最悪の時は5♠をビッドし5NTで止まる予定)。
Nのレスポンスは5♦(Key-Card 3枚:A2枚と♣Kあり)であったので6NTをビッドする。

6NT/N OL: ♠8 ウイナーは♣6♦2♥1♠2の11個しか無く、あと1個何で勝つか?
また、Declarerへのエントリーは♣以外には♠Aのみであるので注意が必要。♦Qに負けて♦で12個目のウイナーを作る計画で、OLはダミーの♠Kで取り(Nで勝つと♣を取るエントリーがなくなる)、♣Q♣Jを勝ってから、♦A♦Kを取って♦10を出して♦Qに負けると、確実に6メイクになる(♦で3勝すれば良いので、♦AKを勝って♦10で負に行くが、♦で4勝必要な時は、最初に♦Jで♦Qを追い出すのが安全プレー(♦5-1に備えて))。

No. 2

♠ J874						
♥ J104						
♦ 1083						
♣ K73						
♠ 106		♠ A2				
♥ Q2	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>N</td></tr><tr><td>W E</td></tr><tr><td>S</td></tr></table>	N	W E	S	♥ AK987	
N						
W E						
S						
♦ QJ74		♦ K965				
♣ Q10986		♣ J5				
♠ KQ953						
♥ 653						
♦ A2						
♣ A42						

N	E	S	W
	1♥	1♠	P
P	2♦	P	P
2♠	P	P	3♦
P	end		
(3♠	end)		

Eの1♥にSで1♠のOCL、Eが2ndスーツの2♦をビッドして、♦と♠の微妙な競り合いになる。
EWの♦は8枚フィットながら3♦まではレイズするのが普通。これに対して♠9枚フィットが判るNで3♠まで競るかが問題である。このハンドはVulで4-3-3-3の型であり、ハンドが弱♥Jもあるのでパスしても良い。
3♦/E OL: ♠K Declarerはハンドの♠Aで勝ち、♦を集める。♠1♦1♠2のルーザーが出て3メイク。
3♠/S OL: ♦Q Declarerで考えて、ミラーハンドに近く、ルーザーは♠A♥3♦1♠1の6個あるので♦Aで勝ち、♠を集めるが♠Aで勝ったEが♥K♥A続いて♥を出してWにラフされると2ダウンは仕方なし。

通常、9枚フィットは3の代まで競るのが定石とされているが、Vulで形が良くない時は慎重であるべきである。3♦がメイクしても110点である。

No. 3

♠ KQ109432						
♥ 85						
♦ J52						
♣ 10						
♠ A87		♠ 6				
♥ AQJ72	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>N</td></tr><tr><td>W — E</td></tr><tr><td>S</td></tr></table>	N	W — E	S	♥ K9643	
N						
W — E						
S						
♦ 84		♦ AQ6				
♣ A96		♣ KJ54				
♠ J5						
♥ 10						
♦ K10973						
♣ Q8732						

N	E	S	W
		P	1♥
P	3NT	P	4♣
P	4♦	P	4♥
P	4NT	P	5♦
P	6♥	end	

Wの1♥にNがパスの時は、Eは3NTをビッドして♥4枚と13~15hcpを示す(Jacoby 3NT)。以後各々キュー・ビッドしてスラムトライ出来る(左上)。N E S W
以前のEのレスポンスは3♠(Sprinter: ♥4+枚と11~14hcp)が普通。 P 1♥
Nが2♠のジャンプOCをした時は3♠のCuebidをして♥のサポートと 2♠ 3♠ P 4♣
Game-Forsing以上のハンドを示し、Aの在処を示しながら6♥に到達 P 4♦ P 4♥
出来る(右)。尚、Nは7枚♠であるので3♠のOCをした場合はNは4♥ P 4NT P 5♦
をビッドすることになる(4♣のCue-bidは難しい; preemptiveビッドは P 6♥ end
中途半端でなく最も高い代で行うのが効果的)。
6♥/W OL: ♠K OLをハンドの♠Aで勝つ。6メイクには♦K or ♣Qの中、どちらかのフィネスが成功れば良い。そこで♥A、♥Qを取り、♦4を出してダミーから♦Qを引くと、Sに♦Kで勝たれ、♠Jが返された。ダミーでラフし、♦Aを取り、♦6を引いてハンドでラフする。ここで直ぐ♠Aを取り、♣Qのフィネスをするのは明快だが芸がない。ハンドから♠を出してダミーでラフするとSはショウアウトした(Nの♠が7枚が判明する)。この間Nは♥2枚♦3枚をフォローしたので、Nの♠は1枚であることが判り、♣Qのフィネスは絶望的かも。しかし、Nの1枚の♠がQか10の時(確率は1/3)、6メイクの可能性はある。そこでダミーの♠Kを取りNから♣10が出れば、ダミーから♠を引いて♣Qのフィネスを自信を持って行くと6メイクする。♠Kの時にNから♣Q♣10どちらも出ない時は6♥はダウンする。

N	E	S	W
		P	1♥
3♠	4♥	end	
	(4♠ 5♥)		
	??		

No. 4

♠ AKQ72	♠ 4
♥ Q3	♥ J1076
♦ AQ3	♦ KJ85
♣ J84	♣ AK95
♠ 9865	♠ 4
♥ 985	♥ J1076
♦ 1092	♦ KJ85
♣ Q73	♣ AK95
♠ J103	
♥ AK42	
♦ 764	
♣ 1062	

N E S W Nの1♠のOPにEがダブルを掛けた場合、Sが2♣にレイズする。18hcpとダブトンのがあるNは3♣にレイズし、Sで4♣にレイズする。Eがダブルを掛けずにパスした時もSは2♣にレイズするが、この時は、Nで直ぐ4♣にレイズする(ダブルの後の2♣レイズは♠4枚で弱いハンド(3hcp~)のことあり)。Nは自分の下手(E)でダブルが掛ったので用心する必要がある。4♣/N OL: ♠K 次に♣Aを続け、Wは♣7、3をフォロー。Eは♣5を続けWが♣Qで勝ち、♦10を出してきた。Declarerのプレー方針は? ♠5♥3♦1の9個のウイナーがあるが、4メイクにはあと1個必要。①♦KがWにあることに賭け、ここで♦Qを出すのも1手段だが、Eがダブルをビッドしている時は、♦KはEにある可能性が高く、フィネスが成功する可能性は少ない。そこで他の手段としては、②♦Aで勝ち、♠を5巡全て集めて、ハンドは♥Q3、♦Q3が残り、**ダミーには♥AK42を残す**。若し、♦Kを持っているEが♥4枚持っていたら(ダブルが掛った時は可能性が高い)、Eはこの時点でスクイズにかかり♥4枚と♦Kを同時に守れない型になっている。♦Kを持てば♥が3枚になるので残り全部勝てる。ビッドから情報が無い場合は①のプレー(成功率50%)が良いが、♦KがEにある可能性が高い時は、②のプレーを選択したい。②のプレーはEの♥が4枚(Wが3枚)でないと成功しない

No. 5

♠ A973	♠ 642
♥ 73	♥ QJ85
♦ QJ108	♦ 93
♣ J87	♣ K542
♠ K8	♠ 642
♥ AK1094	♥ QJ85
♦ A65	♦ 93
♣ A103	♣ K542
♠ QJ105	
♥ 62	
♦ K742	
♣ Q96	

N E S W 3th-handのWの1♥のOPにEは2♥にレイズし、Wで直ぐ4♥にレイズする。
P P P 1♥
P 2♥ P 4♥
4♥/W OL: ♦Q Declarerで考えてルーザーは♦1♣1と♠1~2あり、ウイナーは♥5♦1♣2とダミーでの♥ラフ1の9個でメイクには1個不足。1個増やす手段としては、①♠AがSにあるとしてダミーから♠を出して♠Kのスチールを狙う。②♣3-3の分れでダミーの♣の4枚目を勝つプレーが考えられる。この両方を試すためには②を先に試し♣3-3でない時に①を狙うことが必要。プレーの組立てを如何にするか? ♣の分れが判明する前にSに入り、Sから♠をリードされることを避けねばならない。そこで、OLの♦Qにはハンドの♦Aをダックして勝たせる。♦の2巡目に♦Aで勝ち、♥A♥Qと♥を集める。次にダミーから♣2を出し、Sから♣QorJが出ない時はハンドから♣10を出す。これをNが♣J勝っても♣3-3を試すことが出来る。このハンドは♣3-3で4メイク出来る。若し、Sから♣Qが出ればハンドの♣Aで勝ち、ダミーの♣Kを勝って、♣を出す!これがNに入り♣3-3であれば好都合。若し、Sの♣Jに入っても損は無い。プレーの早い段階でSに入ることを避けなければならない。

No. 6

♠ KQJ62	♠ 973
♥ 62	♥ K105
♦ 97	♦ KQ1054
♣ 10973	♣ K8
♠ A105	♠ 973
♥ AQJ92	♥ K105
♦ 862	♦ KQ1054
♣ A5	♣ K8
♠ 84	
♥ 874	
♦ AJ3	
♣ QJ642	

N E S W Wの1♥のOPに、最初パスしているEはDrury 2♣でレスホンスする。これにWは4♥をビッドして決まる。
P P P 1♥
P 2♣ P 4♥
end
4♥/W OL: ♠K Declarerから見て、ウイナーは♥5♠1♣2の8個は確実だが、4メイクにはあと2個必要。増やすのは♦しかない。①♦AがNにあればハンドからダミー向かって♦を2回出せば♦で2個勝てる。②♦AがSにある時は♦JがNにあれば♦Jのフィネスが成功して♦で2個勝てる。③♦A、♦J共にSにある時はどうか。♦で2個負けても、♠で1個しか負けなければ良い。それはどんな時か。Sに負けた時、Sに♠が無ければSから♠を攻撃出来ない。①~③を考慮してプレーを組み立てる。それでOLの♠Kに勝たせ、2巡目にハンドの♠Aで勝つ(③の場合にSの♠が2枚を狙うため)。♥を集め、ハンドからダミーに向けて♦を出す。♦KがSの♦Aに負ければ、次は♦Jのフィネスをする。これが成功すれば4メイク出来る。このハンドは♦Jのフィネスは成功しないが、♠が2枚のため③が成立して4メイクになる。♦AがNにあれば確実に4メイク出来るが、♦AがSにある場合は、上記のような好都合な筋書き通りにはいかない。Defense感性の優れたSが♦の1巡目の♦Kに♦Aをダックするとどうなるか? Declarerは♦AはNにあるとして、♣Aでハンドに戻り、♦の2巡目を出しダミーから♦Qを出した時、Sが♦Aで勝って♣を出されると、♦JがN-Sドチラにあっても♦で2ルーザーとなり、しかもダミーへのエントリーが無いので、♦の4枚目が勝てなくなっている、1ダウンになる。これを防ぐために、Declarerは♦AがNにある時、♦2巡目にも♦Aを出さないと考えられないとして、♦2巡目に♦Jのフィネスをすることが可能である。Sが♦の1巡目に♦Aをダックするプレーがdefenseとして肝要である。攻防面白いプレーである。

No. 7

♠ 109752
♥ KJ53
♦ J6
♣ 63

♠ 4
♥ 976
♦ 954
♣ KQ10952

N		E
W	+	
	S	

♠ AKQ8
♥ A82
♦ Q108
♣ J84

♠ J63
♥ Q104
♦ AK732
♣ A7

N E S W
1NT P
2♥ P 2♠ P
P end (3♠)

Nの2♥のJacoboy TR. のレスポンスに、強い♠4枚と16hcpを持っているSは、通常2♠でのトランスファードであるところを、3♠(普通は♠4枚で Maximum: 17hcpの約束)をビッドする人もあるかも知れない。どちらにしてもNは弱いハンドなのでパス。

2-3♠/S OL: ♠K EはOLを♠Aでオーバーテイクする。Eから見るとWには後、♣Q以外の絵札は期待できない(N: 5hcp、E: 14hcp、S: 15hcp up)ので、自分のハンドで勝つ以外は勝てないと考えられる。

そこで♦K♦Aを取り、♣7を返し♣の3枚目をラフすることを狙う。この後、Eは♥で1個勝てるので1~2ダウンになる。♦を2枚取らずに♣を返すと、♣の3巡目にダミーから♦6を捨てられて(Loser on loser) 2メイクされる。Defense Eでのカードの読みが大切。

No. 8

♠ 98543
♥ Q10987
♦ 4
♣ 93

♠ A
♥ 63
♦ AJ863
♣ AQJ87

N		E
W	X	
	S	

♠ KJ102
♥ J5
♦ 9752
♣ K64

♠ Q76
♥ AK42
♦ KQ10
♣ 1052

N E S W
1♦
P 1♥ P 2♣
P 3NT end

Wの1♦にEは14hcpのバランスハンドであるので直接3NTのレスポンスも考えられるが、取敢えず1♥のレスポンスが普通。これに対するWのリビッドは2♣or3♣が考えられるが2♣が普通。Eが2♣をパスするようならゲームの見込みがない。このハンドの場合1♣でOPLして、リビッドで2♦のリバースビッドをすることも考えられる(♦より♣が長いことを示すが...)。

N E S W
1♦
P 1♥ P 2♣
P 3NT P 4♣
P 4♦ P 4NT
P 5♠ P 6♦
end

Wの2♣リビッドにはEは3NTをビッドする。これをWがパスすればそのままend 決まるが、♦♣5-5のアンバランスなハンドなので、4♣をビッドすればEは4♦をビッドする。Wは5♦か6♦のスラムを狙うビッドをすることになる。

3NT/E OL: ♠J Declarerはダミーの♠Aで勝つ。♠1♦5♥2♣1勝てば3メイクは固い。♣Kのフィネスをして不成功の場合、Nから♠を攻撃されるとダウンの危険性があるので避けるとすれば、♦5個勝ち♥AKを勝って♣10を出しフィネスをしないのが安全プレー。

一方、OLが♠以外の時は♣Kのフィネスを試す余裕があるので7メイクになる。6♦/W OL: ♥8 Declarerはダミーの♥Aで勝ち、♦を4巡集め、♥Kでダミーに渡し、♣10を引いて♣Kのフィネスをするプレーで7メイクになる。同様に、6♣/Wも7メイクは固い。Minorのスラムビッドは難しく、実戦では6♦/6♣をビッドしたのは約1/3、残りの大半は3NTであった。5♦は少数

No. 9

♠ A96
♥ AK5
♦ 863
♣ A875

♠ 74
♥ 863
♦ 75
♣ Q109642

N		E
W		
	S	

♠ 103
♥ QJ10942
♦ J109
♣ KJ

♠ KQJ852
♥ 7
♦ AKQ42
♣ 3

N E S W
1NT 2♠ 4♦ P
4♥ 4♠ P P
X end
(P)

Nの1NTのOPに対して、Eは何をビッドするか? ① 4♠が悪くても2ダウンN 1♣ X 1♥ P
しかしないと予想されるので、直ぐ4♠をビッド(左下)するか、② 2♠を 1NT 3♠ P end
ビッド(♠とどちらかのMinor 5-5以上を示すHamilton OC)するかで (4♠)

X end (P)

2♠のOCに対しては、Sはパスせずに4♦(Texas transfer)をビッドしてNに4♥をビッドさせる可能性が高い。Eは4♥に対するDefense力は少ないのでサクリフェイス的に4♠をビッドする。これにはNでダブルが掛かる可能性が高い(左上)。

一方、Nが1♣でOPLした場合は、Eはダブルを掛けNの1NTリビッド後、Sは3♠(4♠)をビッドする(右)。

4♠/E OL: ♥Q Declarerは♥の2巡目をハンドでラフし、♠が3-2、♦3-3の分れであれば4メイク可能としてプレーを進める。このハンドは幸運にも思惑通りのカードブレイクで4メイクする。なお、4♥/Nは♦3個♠1個のルーザーがあり1ダウン。

No. 10

♠ KQJ6432
♥ —
♦ K72
♣ A105

♠ A9
♥ KJ109
♦ 83
♣ KQ982

N		
W	+	E
S		

♠ 85
♥ Q8764
♦ AQJ105
♣ J

♠ 107
♥ A532
♦ 964
♣ 7643

N E S W
P P 1♣
1♠ 2♥ P 3♥
3♠ 4♥ end

Nの1♠OCに対して、Eで2♥をビッドするかネガティブダブルを掛けるか？♥5枚なので2♥をビッドする人が多いと思う。
4♥/E or Wになる。 OL: ♠K or ♠10 ダミーの♠Aで勝つ。ルーザーは♥A♠Aと♠1個は避けられないので、メイクするには他にルーザーは出せない。即ち、♦KはNIにあるとしてプレーを組み立てる。そこで、ハンドから♥4を出してダミーから♥9を出すこれで勝ち、Nがショウアウトして♥が4-0の分れであることが判明する。ダミーへのエントリーが少ないので、♥を集めずに♦3を引いてハンドから♦Qを出しこれが勝てる。次に♣Jを出して♠Aを追い出し、最後にダミーに入る様に♥を集めれば、4メイク出来る。
Nが♠Aをダックした時はそのまま♥を集め、♦Kのフィネスをすれば♦が3-3の分れで5メイクする。

N E S W
P P 1♣
1♠ X P 2♥
2♠ 4♥ end

No. 11

♠ 109542
♥ J5
♦ 76
♣ KJ52

♠ 7
♥ 974
♦ KQ109
♣ 976

N		
W	X	E
S		

♠ J63
♥ AK632
♦ A8
♣ Q104

♠ AKQ8
♥ Q108
♦ J43
♣ A83

N E S W
1NT P
2♥ X 2♠ P
P end

NIは♠5枚の弱いハンド(5hcp)であるので、Jacoby TR の2♥をビッドして、Eはリードショウイングの意味もありダブルを掛ける。これに構わずSは2♠をビッドしNはパスする。
2♠/S OL: ♥9 Wは♥Kで勝ち、♥Aも勝つてから、♦Aを出し、Wが♦10を出すのでEは♦8を続ける。Wは♦Qで勝ち、♦Kを出す。DeclarerがダミーでラフすればEは♠Jでオーバーラフする。この後Declarerは♠を集めるが♠で1ルーザー出て1ダウンになる。
Eで♦の3巡目をオーバーラフ出来ない2メイクになる。
OL: ♦Kの時は ♦K→♦6→♦A→3♦ Eでオーバーテイクして、直ぐ♥K♥Aを勝ってから、♦8をリターンすることが大切。何れの場合も、Eは♦のラフの前に♥A♥Kを勝っておくことが大切で、♦を先にオーバーラフしようとすると、Declarerは♦の3巡目をダミーでラフせずに♥を捨てる(Loser-on-Loser)プレーで2メイクになる。 Defenseとしては注意が必要。

No. 12

♠ Q7632
♥ 94
♦ QJ74
♣ A5

♠ 104
♥ AKQJ76
♦ A10832
♣ —

N		
W		E
S		

♠ AKJ985
♥ 3
♦ —
♣ KJ9876

♠ —
♥ 10852
♦ K965
♣ Q10432

N E S W
1♥
P 1♠ P 2♦
P 3♣ P 3♦
P 3♠ P 4♠
end

ビッドの難しいハンドである。 Wの1♥にEは1♠でレスポンスするのが普通で、Wの2♦リビッドに対してEが3♣をビッド(Forcingであるが♣がこんなに強いスーツとは限らない)するか3♠をビッドするか。
Eの3♣にはWは3♦をビッドし、Eは3♠をビッド(♠良い6枚以上; ♥否定)する。これをWで4♠にレイズ。Wがリビッドで3♥にジャンプした時(左下)は、Eが3♠をリビッドし、Wで4♠をビッド。尚、Wの1♥にNが1♠のOCを掛けた時(Vulでは危険だが: 右)のEのビッドも難しい。Eは一旦2♣をビッドし、Wの2♦にEは3NTをビッドすることになりそうである。これに対してはWでパスと4♥両方考えられる。
4♠/E OL: ♥2 Declarerはダミーへのエントリーが少なく、プレー計画が重要。ウイナーは♠5♦1、♥2(4-2の分れ)とすれば4メイクには2個不足。これを補うにはダミーで♣を2回ラフする方法しかない。そこでOLの♥を♥Aで勝ち、♥K♥Aを勝ち、♦を引いてハンドでラフ、♣を出してダミーでラフ、♦を引いて(Wにオーバーラフされる危険性が♥より少ない)ハンドでラフし、2回目の♣をダミーの♠10でラフ、以後♥Qを出せば4メイクする。
3NT/E OL: ♦5 Declarerは♦1♥6♠2のウイナーがあり3メイク確実なので、♦Aで勝ち、♥を6個勝って、♠10を引いてフィネスをする(Nが1♠のOCでSの♠はボイド)と5メイク。 OL: ♣3でも6メイク。
4♥/W OL: ♣or♦ の時はボイドの方でラフして♥を集め、♠Qをフィネスするプレーで4メイク。OL♣3でダミーの♠AをSにラフされ、♥をリターンされた時は4メイク微妙。最後がスローインになるかも知れない。

N E S W
1♥
P 1♠ P 3♥
P 3♠ P 4♠
end

No. 13

♠ AKQ2
♥ A52
♦ AKQ6
♣ Q3

♠ J10985
♥ J1076
♦ 8
♣ A95

♠ 764
♥ 98
♦ J1092
♣ 10842

N		
W		E
	S	

♠ 3
♥ KQ43
♦ 7543
♣ KJ76

N	E	S	W
2♦	P	2♥	P
2NT	P	3♣	P
3♠	P	6NT	end

♠ Q2
♥ —
♦ 6
♣ 3

♠ —
♥ —
♦ 10
♣ 1086

♠ —
♥ 4
♦ —
♣ KJ4

ほぼバランスハンドで24hcpある非常に強いハンドのNは2♦でOPLし、リビッドで2NT(24~25hcp)をビッドし、3♣(Stayman?)にNは3♠をレスポンスする。これにSは直接6NTをビッドする。
6NT/N OL: ♦J ウイナーは♠3♥3♦3の9個と♣Aに負ければ♣2個増えて計11個あるがあと1個どうするか? ♥が3-3の分れか♦が3-2の分かれなら4枚目が勝てるようになるが……。このハンドは単純でない。OLの♦Jをハンドの♦Qで勝ち、♣Qを出して♣Aを追い出す。♣Aで勝ったWが♠Jを出すのを♠Aで勝ち、♦Kを勝つと、Wは♠5をディスカード(♦4-1)。ここで♠K、♥AKQを勝つと、Eは3巡目に♠6をディスカード(W♥4枚)、♦Aでハンドに入ると、残りの4枚は左下の様になる。ここで♠Qを勝つと、Eは♣と♦でスクイズにかかっている。
尚、Wが最初の♣をダックした時は、ダミーへのエントリーため♥Qを残して(♥AKの2巡しか勝たないで)進めると同様のスクイズになる。また、♣Aで勝ったWが♣を返した場合は♣KJを勝って♦AKを勝つと今度はWの♥♠がスクイズにかかる(Minor6個の間にMajor2枚を捨てる必要あり)。Defenseのカード分布を注意深く分析すれば、このスクイズの方法が見つかる。また、♣Aを追い出したあと、勝てるものを勝つと、意図することなく偶然にスクイズになり6メイクになり得る。但し、defenseから出るカードに注意して残りのカードを正しくは把握していることが必要。

No. 14

♠ 9632
♥ Q8
♦ K76
♣ K1087

♠ 85
♥ K1043
♦ J4
♣ QJ432

♠ AK
♥ A52
♦ A1032
♣ A965

N		
W	X	E
	S	

♠ QJ1074
♥ J976
♦ Q985
♣ —

N	E	S	W
	1♦	P	1♥
P	2NT	P	3NT
end			

19hcpのバランスハンドのEはリビッドで2NTをビッドする予定で、1♦(1♣)でOPLし、Wの1♥レスポンスに2NTをビッド。Wが3NTにレイズして決まる。
3NT/E OL: ♠Q Declarerはハンドの♠Kで勝つ。ウイナーは♠2♥2♦1は確実で、3メイクには♣で確実に4勝する必要がある。K1087の4枚が抜けているので、♣が2-2か3-1の分れであれば普通にプレーすれば4勝出来るが、4-0の分れの時は注意が必要。Declarerは第2トリックでハンドから♣5を出し、Sから♣Kが出なければダミーから♣Qを出すのが、♣が4-0の分れでも確実に4勝出来るプレーである。このハンドのようにNが4枚で♣Kに負けても、次に♣Jを勝ち、ダミーから♣2を引き、♣10をフィネスする。若し、Sが4枚の時は♣Qが勝つので、♣Aでハンドに戻り、♣6をダミーに向けてリードすれば良い。
若し、このハンドでOLが♦5の時は如何にプレーするか? ダミーから♦4を出すのが重要(ハンドにA10XXがあるので♦KQがどの様に分れていても2ストップとなり得る)。

No. 15

♠ 7642
♥ QJ10
♦ Q82
♣ QJ9

♠ J95
♥ 94
♦ A1076
♣ 105

♠ Q10
♥ A865
♦ 3
♣ K87642

N		
W		E
	S	

♠ AK83
♥ K732
♦ KJ9
♣ A3

N	E	S	W
		1♦	P
1♠	P	3♠	P
4♠	end		

N	E	S	W
		1♦	P
1♠	P	3♠	P
3NT	end		

Sの1♦に対して、Nは1♠でレスポンスするとSは3♠にジャンプレイズしてきた。弱い♠4枚の8hcpの4-3-3-3のハンドをしているNは4♠にレイズするか、3NTをビッドするか悩ましい(普通に4♠にレイズして、1ダウンしても気楽だが……。しかし、3NTなら1個余分に負けられるので、3メイク出来るかも知れない)。
4♠/N OL: ♦3 ♦Aで勝ったWは♦4をリターンしてEが♠10でラフ。以後♥Aと♠にルーザーが出て1ダウンになる。
3NT/N OL: ♣6 Declarerはハンドの♣J勝つが、3メイクには♥A♦Aを追い出す必要があり、かなり難しい状況である。しかし、♣が5-3の分かれならメイクの可能性は無いが、6-2の分れであれば望みがある。即ち♦A♥Aの中、後で負ける方がWにあればメイク出来る。そこで第2トリックで♥Qを出す
とEから♥Aが出て、♣がリードされるので、ダミーの♣Aで勝つ。♥J、♥10を勝ち♠Aでダミーに渡り、♥Kを勝ってから♦Kを出すWから♦Aが出て、♣が無いので3メイクになる。このハンドのN-Sのビッドの善悪は言えない。Eの♣1枚が♠と入れ替わってれば(Eが♠3枚、♣5枚)、4♠がメイクし、3NTはメイクチャンスが無い。

No. 16

♠ 104	N	E	S	W
♥ 107				P
♦ KQ10	1♣	P	1♠	P
♣ AQJ1096	2♣	P	2♦	P
♠ K963	3♦	P	3♥(3♠)	P
♥ KJ64	3♠	P	4♠	end
♦ 932	(4♣	P	5♣	end)
♣ K4				

	N	
W	—	E
	S	

♠ 52	♥ A9832
♥ 874	♦ 874
♣ 752	♣ 752

♠ AQJ87	N	E	S	W
♥ Q5				P
♦ AJ65	1♣	P	1♠	P
♣ 83	2♣	P	2♦	P
	2♠	P	4♠	end

N	E	S	W
			P
1♣	P	1♠	P
2♣	P	2♦	P
3♦	P	3♥(3♠)	P
3♠	P	4♠	end
(4♣	P	5♣	end)

N	E	S	W
			P
1♣	P	1♠	P
2♣	P	2♦	P
2♠	P	4♠	end

Sの1♠レスポンスに対するNの2♣リビッド以後のビッドは難しい。Sは5枚♠と14hcpあるので、ゲームまでビッドを続ける必要がある。そこでSはリビッドで2♦をビッドする(Forcingで、♠♦の枚数は各4枚以上を示す)が、これにNが何をビッドするか難しい。♦は3枚であるが、Sの♦が5枚あることも考えられるので、3♦をビッドするのが普通(2NTや2♠は誤解を招く)。次のSのビッドは3♥(4th-suit Forcing: ♥にストッパーがあれば3NTはどうですかとのInvitation)をビッドし、Nは♥のストッパーが無いので、3♠or4♣をビッドする(右上)。これにはSが4♠or5♣をビッドする。何処かの段階で、N-SどちらかでNTをビッドすれば3NTになる可能性が高い。

4♠/S OL: ♠3→♠4→♠5→♠7 Declarerとしては♠は4-2の分れとして♠Kと♥2個のルーザーに抑えられれば4メイク出来るとしてプレーを組み立てる(♠Kのフィネスが成功しなければ4メイクしないとして)。第2トリックではダミーの♠10に向けて♠8を出す。この後ハンドから2回♣を出すプレーをする。OL: ♥4 ♥Aで勝ったEは♥3を返す。Wは♥Kで勝つ。次に何を出すか? Eに♥A以外の絵札を期待できないので♠3を出す。Declarerは上記と同様の考えでプレーを組み立てる。

5♣/N OL: ♠5 ダミーの♠Aで勝つ。5♣がメイクするのは♠Kのフィネスが効いて(♠KXXの3枚を想定)♣をダミーから2回引ける時である。そこでOLは♠Aで勝ち、♣8を引いてハンドから♣6を出すことで、♣をダミーから2回出せて、♦の4枚目でハンドの♥(♠)を捨てて5メイクとなる。

3NT/N(S) OL: ♥の時は1ダウン、それ以外は4~5メイク

No. 17

♠ 86	N	E	S	W
♥ A10643	P	P	1NT	P
♦ A9	2♦	P	2♥(3♥)	P
♣ Q973	3NT	P	4♥	end
♠ J107				
♥ 9				
♦ 10876				
♣ K62				

	N	
W	X	E
	S	

♠ K543	♥ Q87
♥ Q87	♦ KJ2
♦ KJ2	♣ J105
♣ J105	♣ J105

♠ AQ92	N	E	S	W
♥ KJ52				
♦ Q4				
♣ A84				

N	E	S	W
			P
P	P	1NT	P
2♦	P	2♥(3♥)	P
3NT	P	4♥	end
(4♥)			

3rd-handのSの1NTにNがJacoby TR. の2♦をビッドする。これに対して♥4枚と16hcpのSでのビッドはペアーの約束で2♥と3♥の約束で分れるが、何れにしても4♥/Sになる。

4♥/S OL: ♦6 Declarerはダミーが♦9を出す、Eは♦Kが勝って♦2をリターンしてきた。Declarerで考えると♠1~2、♦1、♥0~1、♠0~1のルーザーが予想され、♥でルーザーが出た場合には、♣と♠で1個以内に抑える必要がある。そこで♥の集め方を如何するか? 9枚カードなので♥AKを勝つのが定石。この場合♥Qが落ちずに残り、メイクには♠♣で1ルーザーにする必要があることになった。この可能性は♠KがWにあり、♠KがEにある時のみであるので、これに焦点を絞ってプレーを組み立てる。そこで先ず♥を出してEの♥Qに負に行く。Eから♣が出てくれば、♣Qが勝てるようになり、♣は1ルーザーで済み、♠Kのフィネスに賭けることになる。Eが♠を出せばハンドから♠Qを出し、これが勝つので、ハンドから♣を出して♣Qのスチールを狙う。このハンドは好都合に出来ているので4メイク可能だが、焦点を絞ってプレーを組み立てることが重要である。

No. 18

♠ Q2	N	E	S	W
♥ KJ62				1♣
♦ AJ96	X	XX	1♦	P
♣ A109	P	2♠	P	3♠
♠ A1054	P	4♠	end	
♥ 73				
♦ Q73				
♣ KQ75				

	N	
W		E
	S	

♠ KJ8763	♥ AQ95
♥ AQ95	♦ 102
♦ 102	♣ 3
♣ 3	♣ 3

♠ 9	N	E	S	W
♥ 1084				
♦ K854	X(P)	2♠	P	3♠
♣ J8642	P	4♠	end	

N	E	S	W
			1♣
X	XX	1♦	P
P	2♠	P	3♠
P	4♠	end	

N	E	S	W
			1♣
X(P)	2♠	P	3♠
P	4♠	end	

Wの1♣にNがテイクアウトダブル(14hcpあり、♠2枚であるがSから1♠が返れば1NTをビッドする予定)を掛けた時、Eでリダブルを掛ける(左上)か2♠をビッドことになる。Wでレイズして4♠になる。Eは最初パスしているので強いビッドをしないとWはパスをする。

4♠/E OL: ♥10 Declarerはハンドで勝ち、♠をハンドで終わる様に集め、♣を出して♣Aに負ける。ここでNが♦Aを勝ちSの♦8を見て、♦を出さないと5メイクになる。

OL: ♦4 Nが♦Aで勝ち、♦を返せば、Sが♦Kで勝つ。Sから♣を出せば4メイク。Sが♣以外を出すと、Declarerはハンドで勝ち、ダミーで終わる様に♠を集め、ダミーの♦Qでハンド♣3を捨ててから、♥を引いて♥Kのフィネスをすれば5メイクになる。

No. 19

♠ 106
♥ QJ863
♦ 7432
♣ A8

♠ K52
♥ K97
♦ AK
♣ QJ1094

N	♠ AQJ973
W	♥ A102
E	♦ Q105
S	♣ 5

♠ 84
♥ 54
♦ J986
♣ K7632

N	E	S	W	1NTの後、JacobyTr. 経由の2♠の後での、Eの3♣は♠6枚を示し、	N	E	S	W
		P	1NT	♣がセカンドスツカストッパー(2ndまで)ありを示す、スラムInvitation。			P	1NT
P	2♥	P	2♠	この後の3♦、3♥はAを示し、3♠は♠3枚を示す。♠2枚なら3NTをビッド	P	2♥	P	2♠
P	3♣	P	3♦	する。4NTはRKCBで5♥はキーカード2枚(♠で数えて)を示す。	P	3♥	P	3♠
P	3♥	P	3♠	また、右のようにEがリビッドで3♥をビッドした場合もWで3♠をビッドし、	P	4NT	P	5♥
P	4NT	P	5♥	Eから考えてWはマイナーに少なくとも7hcp以上持っているはずなのでEから4NTをビッドしてスラムトライする。	P	6♠	end	
P	6♠	end		何れでもスラムに行くか、行かないかの主導権はレスポンドー(E)にある。				

6♠/W OL: ♣A or ♥6 (いずれもそのスツにKを期待してリードする)。Declarerは♠を集めた後、ハンドの♥のルーザーが捨てられるので、6メイクは固い。

No. 20

♠ 852
♥ 43
♦ AJ1096
♣ 942

♠ KQ63
♥ QJ107
♦ K43
♣ 73

N	♠ 974
W	♥ 952
E	♦ Q82
S	♣ J1085

♠ AJ10
♥ AK86
♦ 75
♣ AKQ6

N	E	S	W	Sは21hcpあるが♦が弱く、2NTでオープンが出来ないので、1♣でオープンし、Nの1♦レスポンスに	N	E	S	W
		P		3NTをビッドする。			P	
P	P	1♣	P	3NT/N OL: ♥Q Declarerは♥Aで勝ち、確実なウイナーを数えると、♣3♦1♥2♠1の7個で	P	2♥	P	2♠
1♦	P	3NT	end	メイクには♦で2個増やす(♦が3-3の分かれで、KQがNSに分かれている時)しか方法が無い(♣の	P	3♥	P	3♠
				4枚目が勝てるかも知れないが...)と考えて、第2トリックでダミーに向けて♦5を出す。この時、Wは2nd Lowの原則に	P	4NT	P	5♥
				従った♦3ではなく、Eの♦がQXXの3枚であることを期待して♦Kを出すのがまぎれが無い。	P	6♠	end	
				Declarerの♦が2枚の時はエスタブリッシュした♦を取るエントリーがなくなる(Declarerの♦が3枚なら防ぐ手段ない)。				
				若し、♦3を出す時ダミーから♦Jを出しこれをNが♦Qで取れば、Declarerは次の機会にハンドから♦7を出し、♦Kの				
				フィネスを狙って来るので、♦で4個勝たれて、容易にメイクされてしまう。				
				なお、若しWが♦3を出してダミーから♦Jを引かれた場合にEは♦Qをダックすることが必要になる。				
				Sの♦がKXの2枚の時にはSの狙いは♦Qを追い出し、次にハンドから♦Kを出してダミーの♦Aでオーバーテイクして、残りの♦を勝				
				つことを狙う。或いはこのハンドの様にWに♦KXXがあるが、Wが♦Kを出さなかったことに備えて、Eは♦Qをダックするのが良い				
				プレーとなる。ダミーへのエントリーが限られている場合、Defenseとして考えるべきプレーである。				

No. 21

♠ 3
♥ 742
♦ QJ10765
♣ A75

♠ A74
♥ J106
♦ 83
♣ KQJ64

N	♠ Q962
W	♥ Q8
E	♦ A94
S	♣ 10982

♠ KJ1085
♥ AK953
♦ K2
♣ 3

N	E	S	W	Sが1♠でオープンし、Wが2♣のOCをした後、色々の展開が予想	N	E	S	W
		P	2♣	されるが、♥と♣の争いで3の代で決まりそうである。			P	2♣
P	P	1♠	P	ただし、Eが直ぐ3♣にレイズすると、Sが3♥をビッドした時に、Nが	P	P	1♠	P
P	P	2♥	P	4♥にレイズする可能性高い(ビッドの勢い?)。	P	3♣	3♥	P
P	3♣	P	P	3~4♥/S OL: ♣K ♣Aで勝ち、♠3を引き、ハンドから♠Jを出し、			4♥	end
3♥	end			Wの♠Aに負ける。Wがクロスラフを防止するため♥6を出して来るとハンドの♥Aで勝ち、				
				♠Kを取ってから、♠5を出してダミーでラフ、♠5を引いてハンドでラフする。♠の4枚目を出すとWが♥10でラフして、				
				何を出して来てもハンドで勝ち、♥Kを勝ってから、♦Aに負けに行く時4メイクする(♠A♦A♥10に負けるだけ)。				
				最初から♥を集めに行くプレーは良くない。荒れたハンドではラフを加味したプレーが良い。				
				最初の♠JがWの♠Qに負ける時は、3メイクにとどまる。				
				♦Kを出して♦をエスタブリッシュする方法は、♦Aを直ぐ勝たずにダックされるので成功しない(エントリーが無い)				
				3♣/W OL: ♠3 ベストディフェンス(Nが♣の1or2回目で勝ち♥を出した時)では♣A♥AK♠K♣ラフに負ける				
				ので2ダウンになる。				

以上